



自民党

環境大臣

あさお 慶一郎

何度でも
チャンスのある社会を

今月の提言

太陽光発電事業の更なる地域共生・規律強化に向けた関係省庁連絡会議

釧路湿原メガソーラー

開発事業と環境保護の両立は再生可能エネルギーを進めるうえで避けて通れない難題です。例えば、釧路湿原周辺で再生可能エネルギー事業としてメガソーラー建設が進められましたが、国立公園外ではあるものの、希少生物の生息地や「市街化調整区域」という開発が抑制されるべき場所での開発であり、環境への悪影響が懸念される声を多くの方から頂きました。こうした声を受けて、釧路市は「自然と共生する太陽光発電施設の設置に関するガイドライン」の施行、「自然と太陽光発電施設の調和に関する条例」の制定などの対応を行っています。

天然記念物の動物は文化財保護法で対処

環境省からも、職員を現地に派遣し釧路市等の関係自治体と協議をし、またメガソーラーに関する規制権限は多くの官庁にまたがるため、「太陽光発電事業の更なる地域共生・規律強化に向けた関係省庁連絡会議」を環境省と資源エネルギー庁を事務局として立ち上げ、第一回の会議を9月24日に開催致しました。太陽光発電に関わる規制は多くの省庁にまたがっており、現状で何が出来るのかの確認も重要なポイントとなります。例えば、天然記念物に指定された動物の保護は、実は文化財保護法に基づく部分もあり、文化庁の役割も

大きいのです。

抑制と促進のメリハリ

希少生物を保護することは重要なことです。太陽光発電に限らず風力発電等の再生可能エネルギーを利用する発電は、脱炭素社会の構築の上でも重要な役割を占めます。本年2月に閣議決定した第7次エネルギー基本計画において、再生可能エネルギーの割合を4割から5割にまで高め、最終的には最大の電源にする方針が確認されました。その内訳は太陽光が23から29%程度、風力は4から8%程度となっています。この計画を着実に実施する為には、抑制する所は抑制しつつ促進すべき所では促進するというメリハリの利いた計画を立てる必要があります。

太陽光パネルリサイクルの必要性

同時に、太陽光パネルの使用が終わった後の大量の廃棄物を資源としてリサイクルする制度の設計も着実に進めていくことが不可欠です。政府一丸となってこうした制度を作っていくことがまさに求められており、その意味でも今回設置した関係省庁連絡会議の意味合いは大きいと考えられます。



環境大臣

浅尾 慶一郎

誰にでも何度でもチャンスのある社会を。

あさお慶一郎のプロフィール

昭和39年2月11日生まれ
栄光学園高校、東京大学法学部卒業
日本興業銀行出身、証券アナリスト
米スタンフォード大学
経営大学院 (MBA) 修了

平成10年 参議院議員選挙初当選
平成16年 参議院議員選挙当選 (2期目)
平成21年 衆議院議員選挙初当選
平成24年 衆議院議員選挙当選 (2期目)
平成26年 衆議院議員選挙当選 (3期目)
令和4年 参議院議員選挙当選 (3期目)

浅尾慶一郎
事務所

鎌倉事務所

〒247-0056 鎌倉市大船1-23-11 松岡ビル5階
TEL.0467-47-5682 FAX.0467-47-5626
info@asao.net

Website
asao.netFacebook
facebook.com/
keiichiroASAO

X

twitter.com/
asao_keiichiro

YouTube

youtube.com/
user/
asaokeiichiro

神奈川県北部
(緑区：市の北西部)
面積：253.9km²
人口：166,170人
(令和7年9月1日現在)

クローズアップかながわ 相模原市緑区



活動レポートの『クローズアップかながわ』は、神奈川県内の政令指定都市で活躍する方々にインタビューし、それぞれの地域の魅力を発信してまいります。
今回は東京都、山梨県に接する、神奈川県の北部に位置する『相模原市』です。その中の市内の西部に位置する『緑区』についてJA神奈川つくいの中里州克さんにお話をうかがいました。

あさお：相模原市緑区は、ひとことで言うとどんなところですか？
中里さん：都市の便利さと豊かな自然が、いいバランスで共存している街ですね。市の面積の77%を占めるほど広くて、都市部と山間地域がベストミックスしています。2006年と2007年に旧津久井郡と合併して今の形になったんですが、令和に入ってから、リニア新幹線の駅の工事が橋本で始まったり、鳥屋地区には車庫ができたりと、今後の発展がとても楽しみです。私は以前から、緑区は大きなポテンシャルを秘めていて、日本の縮図でもあると思っています。
あさお：ガイドブックには載っていない、住んでこそ分かる緑区のいいところを教えてください。
中里さん：早朝の藤野地域で、大きく深呼吸をしてみてください。本当に空気が美味しいんです。それから、四季を通してたくさんのイベントが楽しめる場所ですね。橋本の七夕まつりや大島キャンプ場の桜まつり、津久井湖の水の苑地・花の苑地での桜まつりなど、地域が活気づきます。緑区には、津久井湖や相模湖など5つの湖と、相模川や道志川といった豊かな自然を活かしたキャンプ場もたくさんあります。自然を満喫したい人にはぴったりの場所ですよ。
あさお：地元の人しか知らないような、おすすめの特産品はありますか？
中里さん：まず一つ目は、緑区千木良が発祥の地とされる津久井在来大豆です。粒が大きくて甘みが強いのが特徴で、きな粉や納豆、

津久井味噌などに使われます。二つ目は、多くの農家さんが栽培しているブルーベリー。そして三つ目は津久井の栗ですね。以前は、津久井の「余蔭キュウリ」や「ユリ根」も特産品として知られていたそうです。
あさお：ガイドブックには載っていない、とっておきの場所を教えてください。
中里さん：佐野川にある茶園は、ぜひ見てほしいですね。急な斜面に茶の木が植えられていて、本当に美しい景観です。ここで作られるお茶は「佐野川茶」として飲まれています。農家の高齢化が進み、後継者不足が課題になっています。この美しい景色をぜひ次世代にも残したいですね。それから、リニア新幹線の相模川を渡る橋梁工事も迫力がありますよ。大島と小倉の間で続けられている工事は、この先なかなか見られない光景だと思うので、一見の価値があります。工事現場の少し上流にある、旧小倉橋と新しい小倉橋を城山商工会青年部がライトアップしているんですが、これがとても幻想的で、時間を忘れてしまいます。



佐野川茶園



ライトアップされた小倉橋

中里さんの3選



津久井在来大豆

古くから伝わる在来種。「幻の大豆」と呼ばれ、大粒で甘みが強いのが特徴。味噌や豆腐等の加工品にも最適。



ブルーベリー

津久井地区産ブルーベリーは「あぐりんずつくい」で販売。目の疲労を和らげるとされ、デザートや料理に使える。



栗

秋を感じる木の実。甘くてホクホクの味わい。栗ご飯や甘露煮など秋の味覚には欠かせない。

あさお慶一郎をご支援ください

特別賛助 会員募集

『あさお慶一郎君を応援する会』ではあさお慶一郎の政治活動を支援する一助として『特別賛助会員』（5,000円/年）*の募集を行っております。ご入会の方にアーティストとしても活躍される、学校法人大船いしい学園 ひがし幼稚園 石井秀卓園長がデザインした『巳』（蛇）のオリジナルピンバッチをお渡しいたします。

*後援会組織『あさお会』は無料、年会費はありません。



自民党员募集中!!

入党 資格

1. わが党の綱領、主義、政策等に賛同される方
2. 満18歳以上で日本国籍を有する方
3. 他の政党の党籍を持たない方

※ご入党いただける方は、下記にご記入いただき、浅尾事務所までご連絡願います。「入党申込書」をお送りさせていただきます。

お申込み記入欄

お申込みは FAX. 0467-47-5626 か asao.net のご意見・お問合せフォームへ

お申込みをされる項目に✓をしてください	フリガナ	電話番号
<input type="checkbox"/> 特別賛助会員	お名前	E-mail
<input type="checkbox"/> ポスターの掲示ご協力 *自宅の壁・フェンス等に掲示可能な方はお知らせください		
<input type="checkbox"/> 自民党入党希望	〒	—

各種入会・詳細に関しましては、「浅尾慶一郎事務所」ホームページ「<https://asao.net/>」又は TEL. 0467-47-5682 までご連絡ください。